

ボッケ



阿寒摩周国立公園

川湯ビジターセンター



北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6
TEL 015-483-4100

阿寒湖畔エコミュージアムセンター



北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-1-1
TEL 0154-67-4100

ボッケ遊歩道

阿寒湖畔エコミュージアムセンターの裏手の森に整備された遊歩道です。

エゾリスや野鳥が住む豊かな森を楽しむほか、阿寒湖畔からの景色を見ながら歩くこともできます。また、一部では泥と火山ガスが噴き出す「ボッケ」を見ることができ、阿寒摩周国立公園の特徴である「火山」「森」「湖」を手軽ながら一気に体感できる散策路です。



阿寒湖畔 EMC→ボッケ

阿寒湖畔エコミュージアムセンターから出発し、気軽にボッケや阿寒湖を見に行くことのできる、バリアフリーの散策路です。

豊かな針広混交林では野生動物が生息し、エゾリスや野鳥たちに出会うこともしばしば。花や動物に癒されながら、出発から約10分くらいで硫黄の匂いがし始め、ボッケへと到着します。ボコボコと湧くボッケの迫力も見どころですが、その先の雄大な阿寒湖と雄阿寒岳がセットで眺められる展望ポイントも見逃せません。



湖のこみち

ゆっくりと森や湖の景色を楽しみたい、という方にピッタリなのが「湖のこみち」。トドマツやエゾマツが多い針広混交林の中を歩きながらも、阿寒湖や小島を観察することができるコースです。

冬には湖岸沿いの木々に波しぶきが凍った「しぶき氷」を見ることができ、季節によって違う景色を楽しむことができます。



松浦武四郎 詩碑

ボッケ遊歩道には、いくつかの碑が建立されています。そのうちのひとつが北海道の名付け親といわれる松浦武四郎の歌碑です。1858年に探査で阿寒湖周辺を訪れた際に詠んだ漢詩が刻まれています。

「水面風収夕照間 小舟棹支沿崖還
忽落銀峯千仞影 是吾昨日新攀山」

(大意：夕方になり、湖面も波立たない静かな中、周辺の崖に沿って小舟を動かしていると、雪をかぶった美しい雄阿寒岳の雄大な姿が、影となって湖面におとっているではないか。この山こそ、わたしが昨日登った山なのだ。)

初夏



雪も融け出す4月下旬から5月初め。冬を乗り越えた植物たちが動き出す季節です。

阿寒湖畔エコミュージアムセンターの裏手の湿地では、ミズバショウの群落が一齐に花を咲かせます。他にも春を告げるエゾエンゴサクやニリンソウなどが顔を見せ始め、遊歩道を彩ります。

冬

色鮮やかな夏も魅力的ですが、冬にしかなることのできない景色があります。

雪が積もった森は音を吸収し、静かな空間を作り出し、霧氷をまとった木々は朝の光を浴びて輝きます。

モノクロの世界をゆっくりとスノーシューやスキー（レンタル有料）で歩きながら楽しんでください。



ボッケで見られる花・動物



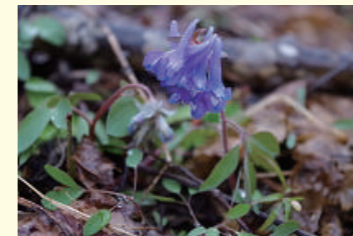
ミズバショウ (5月)



ニリンソウ (5月)



フッキソウ (5月)



エゾエンゴサク (5月)



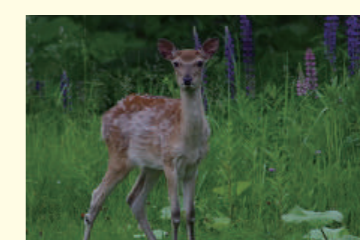
オオウバユリ (7月)



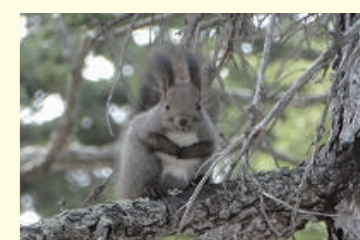
エゾノレイジンソウ (6~7月)



エゾトリカブト (8~9月)



エゾシカ



エゾリス